

# 令和2年度 第11回 理事会議事録

日時：令和3年2月24日（水）19：00～20：20

場所：Web会議、県士会事務所

出席：(理事) 小林(伸)、磯野、三科、小林(司)、名取、平賀、菊池、古屋、井村、大西、鈴木、有泉

(部長) 秩父、小林(泰)

書記：五味

## 会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数134

会員数905名（施設844名 自宅61名）

小林会長より

先月は出席できず、すみませんでした。

行事が順調に進んでいるようで安心している。

これから合同学会や50周年記念事業があるが、これからも継続して取り組んでいただきたい。

### I. 審議事項（全2題）

#### 1. 旅費交通費規定の改正について(有泉事務局長)

第5条2項についてオンラインでの会議出席に旅費交通費支払いを日当として支払っているが、コロナ禍の中でその都度支払うことが滞っている。

年度末にまとめて払うことになると源泉徴収対象になるとの指摘があった。そのため以下のとおり改定したいと考えるがいかがか(以下、参照)。

職場の機器を使用した場合については使用者（会議出席者）と所属先で検討いただければと思う。

<変更箇所>

旧) オンライン等を利用して出席した場合は、**日当として**同じ金額を支給できる

新) オンライン等を利用して出席した場合は、**通信機器の使用および通信費等に対して**同じ金額を支給できる。

### 質問・意見

磯野：規定に明記している同じという文はどの部分と同じなのか。

有泉：五条1項に交通費が明記されているが、その交通費と同じということで書いている。

名取：他の部での会議でも適応になるのか。

有泉：適応になる。

### 結果

改正案を採用し、4月より運用していく。

#### 2. ワークライフバランスに関するアンケート調査について(井村企画局長)

全3回にわたって実施する予定となっているが、第1回目をいつ行うべきか検討いただきたい。

今年度中の実施も可能だが、異動等があり環境も変わることも考えられるがいかがか。

### 質問・意見

有泉：確かに異動等があり、3月以前と4月以降で調査数が変わってくることが予測される。

磯野：来年でいいと思う。来年度の環境で行うことで実態調査ができると思う。

小林(伸)：総会で今年度中に実施する事業項目になっていけば今年度中が望ましいが、今から調査するというのは難しい。次年度の総会でこのことについて説明をして行うことでいいのではないかと考える。

### 結果

次年度の事業として実施していく。

## II. 報告事項

### 1. 各委員会等の報告

#### ①50周年記念事業実行委員会より(三科実行委員長)

日時について前回の実行委員会にて令和3年10月23日(土)に決定した。祝賀会や記念式典等についての開催方式は4月の理事会での決定を目的に考えている。

協賛依頼について理学療法責任者、各病院・施設長、企業宛ての書類を作成した。趣意書についても作成をして、前回ご指摘された部分についても修正を行った。文面についても再度ご確認いただきたい。

### 質問・意見

三科：これらの書類について公印はいるか。事務連絡として発送してもよいのか。

有泉：本来理学療法部門責任者が士会員である場合、責任者宛ての文書に公印はいらぬが、責任者が士会員ではないこともあるので、すべての文書に公印を押したほうが無難であるとする。病院・施設長宛てのものには当然公印が必要である。

三科：わかりました。公文書番号を発行して、送付する施設の一覧を作成する必要があるか。

有泉：公文書番号については検討する。発送先一覧はこちらで管理しているものがある。

三科：承知しました。

趣意書についてはいかがか。協賛金については、記念誌執筆依頼をする時には必要がないので、内容が変わってくるという解釈でよろしいか。

有泉：執筆依頼する際には新たな依頼文書が必要。その時に趣意書も添付すると思うが、趣意書は事業全体を表す物なので、協賛金の部分もそのままでも大丈夫だと思う。

三科：会社宛ての「開催および協賛依頼について」の後に(依頼)として分を載せて送ろうと思う。

小林(伸)：実行委員長と会長の文の体裁を整える必要があると思う。他にも文の体裁を整えてほしい。

有泉：文の体裁の部分で「御理解」と「ご理解」が混在しているのでひらがなの「ご」で統一する方がいいと思う。

三科：会社宛ての書類の発送リストについて、県外の企業への依頼はしないということでもよかったか。

小林(伸)：県内に入入りしている企業については県外でもリストに入れている。特に出入りしていない企業については外してもいいと思う。

平賀：リストの中に私の所属する大学に入入りしている企業もある。

三科：それらの企業へ書類を送ってしまってもよろしいか。

平賀：医療器具の企業で県内に支店がない場合は県内へ出入りしていると思うので送付していいのではないかと考える。

有泉：企業の代表者が変わっているところもある。

小林(伸)：住所欄が空欄の部分がある。ホームページ等で確認をして送付したほうがいいと思う。

三科：明日の委員会でも検討する。

最後に、公開講座について以前報告したが、恵信梨北リハビリテーション病院の上田先生から仲介会社を通して数名紹介があった。方向性をもう少し定めていただければ委員会で検討しようと思う。

小林(伸)：テレビ出演されている先生もいる。一般の方にもわかりやすそうではないか。

三科：検討していきます。

## 結果

文の体裁や公開講座について 50 周年記念事業実行委員会で検討していく。文の体裁について気付いたことがあったら次の理事会までに三科実行委員長に連絡する。

### ②がんリハ推進委員会より(小林(司)副会長)

2月13日(日)に研修を開催した。計152名の参加があった。今回は株式会社リハテックリンクス様の動画配信パックを利用して生配信を行い、全体的にクオリティーが高い配信ができた。5年事業の2年目が終了した。今後も引き続き活動を行っていく。

### ③訪問理学療法委員会より(小林(司)副会長)

1月13日(水)に家屋評価の研修を実施し。

また、1月28日(木)生活期リハビリテーション研修会を実施した。これら2つを受講することで訪問リハ実務者研修会の修了となる。事業費についてはPT・OT・STバンクの事業費で開催したため協議会での予算の使用はなかった。

例年20名程度の参加だが、今回はオンラインで夜間の開催ということもあり76名の参加があった。

## 2. 部・局の報告

### ①学術研修局学術研修部(名取学術研修局長)

第2回学術研修会について

日時：1月24日(日) 13時～16時

講師：網本 和 先生(東京都立大学)

テーマ：『逆境の理学療法—USN と Pusher—』

参加者：51名

例年よりも参加者が少なかった。スタッフは1カ所に集まり中継基地を設置する予定だったが、積雪があったため急遽断念しそれぞれの場所からリモート参加で行った。しかし重大な接続不良等なく実施できた。

## 質問

小林(伸)：謝金の辞退があった何かお送りするものはないか。

平賀：担当に聞いたところお礼状と名菓をお送りする予定とのこと。

小林(伸)：それでいいと思います。

磯野：従来であれば本部を設置して実施する予定だったが降雪のため急遽各自の場所で行ったとのことだが、問題なく実施できたのはなぜか。

名取：各講師が慣れているからだと思われる。

平賀：事前に担当者内で役割分担を決め、事前の練習をしていたと聞いている。

磯野：わかりました。

### ②社会局委託事業部より(古屋社会局長)

「令和3年介護講座」の講師派遣依頼について、以下の先生を推薦した。実際の講義では実技等はないが、対面で行いたいという希望があったので講師の所属先にも理解を得ながら話を進めていきたいと考えている。

講師：小沢 仁 先生(山梨福祉総研)

日時：令和3年6月～12月 9時30分～12時30分

テーマ：テーマ別介護講座「本人の力を引き出す介助の方法」

対象者：一般県民(主に高齢者を介護している家族)

定員：30名

### ③社会局スポーツPT部より(古屋社会局長)

2月19日(金)の19時～21時に、県士会事務所にてウェブ会議を行い、次年度よりスポーツ理学療法部内研修が実施できるよう準備を進めていくことになった。

### ④福祉厚生局介護・医療保険部より(鈴木福祉厚生局長)

合同研修会の事業報告

日時：令和3年2月18日(木) 18時30分～20時

講師：医療保険

雨宮 直樹 先生(山梨県立中央病院)

介護保険

遠藤 勇志 先生(山梨ライフケア・ホーム)

テーマ：「基礎から学ぼう！医療・介護保険制度」

対象者：山梨県理学療法士会・全会員(経験年数1～3年の方を優先)

参加者：15名

参加者は15名と少なかったが、当日は士会事務所にて担当者と講師が集まり、有線のパソコンで行った

ことでスムーズに行うことができた。

⑤合同学術大会部より(菊池学術大会局長)

運営会議が2月3日(水)の報告。

現在までの演題数からプログラムを立案した、教育講演も企画した。各先生方に打診を行い、了承を得ることができた。まだ案の段階なので会場割りや座長はこれから検討していく。

**質問・意見**

小林(伸)：大会長講演が仮称になっているが、これは決定ではないのか。

菊池：決定ではない。

小林(伸)：いつまでに決めればよいか。

菊池：おそらく原稿のタイトルにもなるので原稿依頼までをお願いしたい。

小林(伸)：わかりました。

小林(伸)：森岡先生の座長は私より山本先生がいいのではないかと考える。

菊池：わかりました。

小林(伸)：教育講演①の佐藤先生には了解をえているのか。

磯野：了解を得ている。このセッションの座長は大会長がいいと思うがいかがか。

小林(伸)：検討します。

⑥オリ・パラスポーツ委員会より((代)有泉事務局長)

小尾委員長から連絡があり、帝京大学系列の学会でスポーツ理学療法について講演をする機会を得たので、これまでの山梨県士会のスポーツ PT 部での活動や発表内容から講演をしたいとの話があったので了承した。

⑦委託講習会部より(名取学術研修局長)

来年度の事業でオンラインと対面で行う際の基準は継続して協会のステージと理事会で検討するということでよろしいか。

また、これまでの部内の手続きについて、対面では行っていないので資料等が郵送になっている。切手の取得に端数が発生しているので会計からまとめて購入したいとの意見があった。資料送付分の切手について金種表に記入する項目がなくどのように記入をしていけばいいかご検討いただきたい。

**質問・意見(事業について)**

有泉：予算の部分で悩まれているかと思うが、基本的には対面で行うように予算を組んでいただくように調整を行っている。最終的にオンラインで行った際は予算が余ってしまうがこのような事態なので致し方ないかと思う。

現在の状況を鑑みるとしばらくはオンラインでの開催が望ましいと思う。

小林(伸)：予算についてはそれでいいと思う。

研修会については協会のステージに従う他ないと思う。5月に大分で学会が開催予定だが、

オンライン開催となっている。

現在の状況や開催の費用面等から考えて対面とオンラインのハイブリッド方式で行う流れになっていくのではないかという話もある。

名取：ありがとうございます。

**質問・意見(切手について)**

井村：今の金種表に切手の項目があったと思う。

秩父：私もそのように記憶しているが確認する会計士の方にも確認をとってみる。

Ⅲ. 事務管理局から(有泉事務局長)

1. 決算について

前回理事会で確認をしているが3月31日(水)に締め日となる。

決算報告は今年度の事業が終了次第財務部へ行うようお願いしているが、書類等を対面で手渡しが難しいので方法については今後考えていきたい。

2. 事業報告・事業案について

お手数ですが早めに総務部に提出をお願いする。

3. メール配信について

2月22日(月)まで560名の登録となった(重複あり)

昨年10月から送信したメールは26件で1月平均4件となっている。

4. 組織運営について

過日協会からの4月の組織運営会についての説明動画を理事の先生方に送付した。これについての質問等がありましたら2月28日(日)までに連絡をお願いします。

Ⅳ. 次回の理事会日程について

日時 令和3年3月23日(火) 19:00~

場所 Web会議

連絡 3月19日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。  
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。